

令和6年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート

1.<基本構想>

3 学ぶ意欲を支えるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンター 年間利用者数	430,930 人 (平成30年度)	224,555 人	275,001 人	319,788 人	377,732 人	386,008 人	450,000人 (令和6年度)
市立図書館年間来館者数	461,682 人 (平成30年度)	221,542 人	342,963 人	341,146 人	385,753 人	397,217 人	480,000人 (令和6年度)

2.<基本計画および方針と基本施策>

3-1 学校教育の充実							
<p>(1)【教育内容の充実】</p> <p>○学校と地域が連携し、ふるさとへの愛着心を高める体験活動に取り組みます。</p> <p>○子どもたちの学校の居場所づくりや分かりやすい授業に努め、魅力ある学校づくりを推進します。</p> <p>○ICTを活用し、現代社会に必要なとされる情報活用能力を育成します。</p> <p>(2)【個に応じた学習支援の充実】</p> <p>○習熟に応じて、少人数で指導することにより、学力向上に取り組みます。</p> <p>○気がかりな児童・生徒に対応した学級運営に取り組みます。</p> <p>○特別に支援が必要な児童・生徒の発達段階に応じ、適切に取り組みます。</p> <p>(3)【就学指導体制・教育相談体制の充実】</p> <p>○いじめや不登校の兆しを早期に発見し、関係機関と連携して児童・生徒の支援に取り組みます。</p> <p>○就学による学校生活が円滑に移行できるよう、保育園等と小・中学校の連携を図ります。</p> <p>○教職員の業務負担を軽減するため適正な人員を配置し、授業の準備や研究のための時間を確保するとともに、教員の資質向上に取り組みます。</p> <p>(4)【安全な教育環境の整備】</p> <p>○児童・生徒が安全に安心して学ぶことができる教育環境を整備します。</p> <p>○障がいをもつ児童・生徒に配慮した学習環境の確保を図ります。</p> <p>○省エネ機器の採用や自然環境に配慮した施設整備を推進します。</p> <p>(5)【安全で安心な学校給食の充実】</p> <p>○安全で安心な学校給食の提供に取り組みます。</p> <p>○学校給食を通じて、地産地消、食の大切さや食文化などの食育に取り組みます。</p>							
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
大規模改造工事実施小学校数	毎年2校 (平成30年度)	2校	2校	3校	3校	2校	毎年2校 (令和6年度)
意識調査で「学校は楽しい」にあてはまると回答する児童生徒の割合	66.0% (令和2年度)	66.0%	64.1%	63.2%	61.3%	62.5%	70.0% (令和6年度末)
関連性の高いSDGsの17目標	4.質の高い教育をみんなに						

3.<具体的な事業とその実績>

No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1)-1	教育委員会運営事業	生涯学習、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進するため、教育委員会および総合教育会議を開催します。	教育総務課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	月1回の定例会および臨時会合わせて教育委員会を13回、また、総合教育会議を1回開催し、教育行政について協議を行いました。		3,128	2,935	継続
(1)-2	教育委員会事務局事業	教育行政を一体的に推進するため、教育委員会事務局全体の運営調整を図ります。	教育総務課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	教育行政全般にわたり運営調整を図るとともに、教育振興会や小学校創立150周年の記念誌発行などへの支援を行い教育振興に取り組みました。		13,125	11,967	継続
(1)-3	キャリア教育支援事業	職場体験や外部講師を招いての講演会を実施するなど、生徒が主体的に進路を選択できる能力や職業観を身に付けられるように取り組みます。	学校教育課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	企業訪問・体験、探求学習等を実施するなど、各中学校で創意工夫しながら、生徒自身が坂井市の魅力や特色、自身の将来について考える活動を実施しました。		3,927	3,893	継続

No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1) -4	ふるさと坂井体験学習事業（小学校教育振興事業）	児童が自らの地域の課題等を改善する体験学習を実施することで、郷土に誇りや愛着を持ち、新たな活力を生み出す人材を育成します。	学校教育課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	各学校の創意工夫により、地域活動や農業体験などさまざまな活動に取り組みました。また、4校が県の「ふるさとの魅力発信推進事業」に取り組み、活動内容の発表の動画作成を行いました。		4,200	4,200	継続
(1) -5	ふるさと坂井体験学習事業（中学校教育振興事業）	生徒が自らの地域の課題等を改善する体験学習を実施することで、郷土に誇りや愛着を持ち、新たな活力を生み出す人材を育成します。	学校教育課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	各学校の創意工夫により、地域活動や農業体験などさまざまな活動に取り組みました。また、1校が県の「ふるさとの魅力発信推進事業」に取り組み、活動内容の発表の動画作成を行いました。		1,100	1,100	継続
(1) -6	ふれあい交流事業	様々な交流を通して、各地域の個性と特色を尊重するとともに自らの地域を再認識し、郷土に対する愛着や誇りの気持ちを持てるよう、子どもたち同士の交流、地域との交流、小中学校間の交流を促進します。	学校教育課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	市内全小学校が参加して実施するスポーツ交流会や音楽会、スムーズな中学校生活を行うために実施する6年生が中学校を訪問する小中連携事業を行いました。なお、令和6年度から小学校教育振興事業に予算を統合しました。		5,155	3,519	継続
(1) -7	小学校教育振興事業	ICTを活用した学習活動を行い、子どもたちの学びが充実するよう取り組みます。また、プログラミング教育への対応を図っていくとともに、児童の英語を活用したコミュニケーション能力の向上のために、外国語教育の充実を図ります。	学校教育課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	一人一台配布されたタブレット端末を利用して、デジタルドリル、授業支援ソフト、プログラミング教材や新聞デジタル教材を活用した個別最適化された学びに対応しました。また、通信環境が整備されていない家庭に対してWi-Fiルーターの貸与を行い、タブレット端末の持ち帰り学習を進めました。		118,168	115,513	継続
(1) -8	中学校教育振興事業	ICTを活用した学校教育活動を行い、子どもたちの学びが充実するよう取り組みます。また、課題を解決するための思考力、判断力、表現力などの能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む姿勢を養い、個性を活かした教育の充実を図ります。	学校教育課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	一人一台配布されたタブレット端末を利用して、デジタルドリル、授業支援ソフト、プログラミング教材や新聞デジタル教材を活用した個別最適化された学びに対応しました。また、通信環境が整備されていない家庭に対してWi-Fiルーターの貸与を行い、タブレット端末の持ち帰り学習を進めました。		43,996	42,976	継続
(2) -1	学級運営支援事業	気がかりな児童生徒の学習支援を行うために学級サポーターを配置し、スムーズな学級運営を図る。また、学校生活に支障がある児童生徒の生活支援も行います。	学校教育課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	学習面や生活面で特別に支援を必要とする児童生徒のために、学級サポーターを配置し、対象となる児童生徒の学習支援と学級運営の円滑化が図られました。英語の教科指導員や特別支援教育の指導員を配置して、きめ細やかな学級運営を図りました。また、教職員の校務負担軽減を図るために校務支援システムの活用を推進しました。		167,001	156,335	継続
(2) -2	学力充実推進事業	学力調査を行うことにより、児童の確かな学力の分析を行い、授業改善に取り組み、高い学力の維持を図ります。	学校教育課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	国が実施する学力調査の日程に合わせて坂井市学力テストを実施しました。テストの結果から研究や研修を実施し、授業改善に向けた取り組みが行われました。		2,110	1,977	継続
(3) -1	学校運営支援事業	教職員の働き方改革、業務負担の軽減を図るため、今後も配置を希望する小中学校に学校運営支援員の配置を行います。	学校教育課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	教員の事務負担軽減のために学校運営支援員を配置し、児童生徒に配布するための教材のコピーや印刷等を行うことで、教員の多忙化解消が図られました。		9,637	8,670	継続
(3) -2	教育相談事業	学校に行きたくても行けない児童・生徒に、個に応じた学習活動を進めながら心の安定を図り、学校復帰への援助を行うとともに、その保護者に対して子どもへの理解や対応に関する教育相談を行います。	学校教育課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	不登校の児童生徒に対し、適応指導教室の指導員、訪問員が学校と連携して保護者支援や児童生徒の個別指導を行いました。		16,448	15,799	継続

No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(3) -3	スクールソーシャルワーカー活用事業	社会福祉に関する専門的な知識を生かして、学校だけでは解決ができない複雑化した事例に対して、関係機関と連携し、児童・生徒を取り巻く環境の改善に取り組みます。	学校教育課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	社会福祉に関する専門的な知識を生かして、学校だけでは解決ができない複雑化した事例に対して、関係機関と連携し、児童・生徒を取り巻く環境の改善に取り組みました。		9,318	9,256	継続
(4) -1	小・中学校管理事業	小・中学生が充実した学校教育を受けることができる教育環境を整えるため、市内24小・中学校施設の適正な維持管理を行います。	教育総務課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	小中学校校舎・屋内運動場の修繕・工事などを適時実施しながら、適正な施設維持管理に努めました。また、校務用PCの更新や防犯カメラの設置を行い、教育環境の整備を図りました。		661,486	640,003	継続
(4) -2	小・中学校施設整備事業	児童・生徒の安全・安心を確保し、災害に備えるために、建築後40年が経過し、かつ、以前の改修から20年を経過する学校等について計画的に施設の大規模改造工事を行います。また、熱中症対策等を図りながら、質の高い学習を行えるように特別教室などへの空調設備の整備を行います。	教育総務課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	教育環境の整備・改善のため、小学校2校(加戸・三国南)の長寿命化改良工事を行いました。また、小学校理科室(加戸・三国西・平草)に空調設備を新設しました。		1,245,760	1,224,254	継続
(4) -3	省エネ対策事業	エネルギー使用の合理化に関する法律(省エネ法)に基づく特定事業者として、中長期計画書及び定期報告書の国への提出や説明会等への出席など、省エネに関する知識を習得し、意識を高めます。また、市内24小・中学校の教職員や児童生徒に、省エネに対する理解と協力を求めながら教育環境を整えていきます。	教育総務課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	近年の猛暑等の中においても適切に空調を使用するなど、児童・生徒、教職員の理解と協力のもと、省エネに努めました。		28	0	継続
(5) -1	学校給食管理事業	給食センターと丸岡地区の自校式小学校との連携を図りながら、すべての児童生徒の豊かな心・健やかな体の育成に向け、栄養バランス等を考えた安全で安心な学校給食を提供します。また、地場産食材を使用した給食の提供に努め、地元の食文化への関心理解を深め、望ましい食習慣や幅広い知識の習得に向けた食育を行います。	学校教育課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	学校給食費の保護者負担を引き続き平額にして、児童生徒の家庭の経済的な負担軽減を図りました。また、物価高騰による食材料費分についても市が支援を行いました。丸岡自校式の安全で安心な給食の提供のため、会計年度任用職員の確保等、安定した調理体制の確立を図りました。栄養士や給食調理員を対象とした研修を実施し、職場環境や衛生管理等の向上に努めました。		40,845	39,865	継続
(5) -2	三国学校給食管理事業	全ての児童生徒の豊かな心・健やかな体の育成に向け、栄養バランス等を考えた安全で安心な学校給食を提供します。また、地場産食材を使用した給食の提供に努め、地元の食文化への関心理解を深め、望ましい食習慣や幅広い知識の習得に向けた食育を行います。	学校教育課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	中学校1校、小学校9校、幼保園等4園の計14施設に安全で安心な学校給食を提供しています。地産地消に取り組み、地域の食材に関心を持ち感謝の心を育む食育にも力を入れました。		306,107	305,034	継続
(5) -3	春江坂井学校給食センター管理事業	全ての児童生徒の豊かな心・健やかな体の育成に向け、栄養バランス等を考えた安全で安心な学校給食を提供します。また、地場産食材を使用した給食の提供に努め、地元の食文化への関心理解を深め、望ましい食習慣や幅広い知識の習得に向けた食育を行います。	学校教育課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	中学校2校、小学校4校、幼保園2園の計8施設に安全で安心な学校給食を提供しています。地産地消に取り組み、地域の食材に関心を持ち感謝の心を育む食育にも力を入れました。		334,483	327,780	継続

4.<基本計画に対する現状と課題および展開（具体的な事業の実績を踏まえて）>

現状と課題 および展開	<p>(1)【教育内容の充実】 (学校教育課) 児童生徒一人一台整備されたタブレット端末を活用した「主体的・対話的で深い学び」の学習を進めました。プログラミング教育については、小学校では段階に応じたプログラミング教材の活用、中学校ではレゴプログラミング教材を活用して技術・家庭科における実践的なプログラミングを行いました。情報モラル教材を活用して、児童生徒の「情報モラル」と「情報活用」の育成を図りました。 また、通信環境が整備されていない家庭へのWi-Fiルーターの貸与を継続して、タブレット端末の持ち帰り学習を進めました。</p> <p>(教育総務課) 小中学校の保健室にアクセスポイントを増設し、校内Wi-Fi環境の充実を図りました。また、Webフィルタリングの見直しを行い、GIGAスクール構想に基づく一人一台端末及び教職員の校務用パソコンに設定を行いました。</p> <p>(2)【個に応じた学習支援の充実】 (学校教育課) 授業支援ソフトやデジタルドリルなどにより、一人一台タブレット端末の活用を進めるとともに、中学校では習熟度別学習を行う等、個別最適化された学びの推進を図りました。 また、「子どもが主役」となる教育の推進を進めて、子どもの学びたい気持ちに寄り添い、子どもが学びを決定していく授業を目指していきます。</p> <p>(3)【就学指導体制・教育相談体制の充実】 (学校教育課) 不登校については、市でも年々増加傾向にあるため、児童生徒の自己肯定感・自己有用感を高めることにより、不登校の未然防止につながるよう引き続き支援します。 また、全ての児童生徒にとって「通うのが楽しい学校」となるよう、児童生徒が抱える様々な問題に迅速・適切に対応できるよう関係機関と連携を取りながら、就学指導体制・教育相談体制の充実に向けて支援を行います。</p> <p>(4)【安全な教育環境の整備】 (教育総務課) 小学校の長寿命化改良工事については、令和6年度に加戸小Ⅱ期工事、三国南小学校Ⅰ期工事を行いました。今後も、財源を確保しながら、計画的な改修を行います。空調設備については、小学校3校で理科室に新設し、今後は未設の小学校で理科室空調の設置を行うとともに、中学校屋内運動場などへの設置を進め、安全で快適な教育環境整備を図ります。また、小中学校全校に防犯カメラを設置し、児童生徒が安全・安心に学習できる環境を整備しました。</p> <p>(5)【安全で安心な学校給食の充実】 (学校教育課) すべての児童生徒に安全で安心なおいしい学校給食の提供に努めました。 昨年度に引き続き、学校給食費を半額とし、児童生徒の家庭の経済的な負担軽減を図りました。また、令和6年10月から物価高騰による食材料費分についても市が支援を行いました。現在、国においては給食費の無償化について、まずは小学校を念頭に令和8年度に実施し、中学校にも速やかに拡大するとしておりますので、その動向も注視しながら保護者負担の軽減について検討する必要があります。 丸岡自校式や春江坂井学校給食センターにおける給食提供にあたっては、安全で安心な給食の提供のため、会計年度任用職員の確保等、安定した調理体制の確立を図っているところです。あわせて、正職調理員の減少や丸岡自校式の施設・設備の老朽化、児童生徒数の減少を見据えた市全体の学校給食のあり方について、庁内ワーキングチームで検討を行いました。</p>
----------------	--

令和6年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート

1.<基本構想>

3 学ぶ意欲を支えるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンター 年間利用者数	430,930 人 (平成30年度)	224,555 人	275,001 人	319,788 人	377,732 人	386,008 人	450,000人 (令和6年度)
市立図書館年間来館者数	461,682 人 (平成30年度)	221,542 人	342,963 人	341,146 人	385,753 人	397,217 人	480,000人 (令和6年度)

2.<基本計画および方針と基本施策>

3-2 社会教育・生涯教育の充実							
<p>(1)【社会教育と地域づくりの活動の一体的な推進】</p> <p>○一人一人が自己の教養を深め自己実現が図れるよう、生涯学習機会の充実に取り組み、誰もが豊かな人生を送ることができる社会づくりを推進します。</p> <p>○地域やNPO法人、ボランティア団体、大学等と連携を図り、よりよい生活や地域を創る学習活動を推進します。</p> <p>○子どもと大人がふれあう講座の実施など世代を越えた交流を促進し、子どもたちの共生する力を育みます。</p> <p>(2)【コミュニティセンターを拠点とした集い・学び・結ぶ環境づくり】</p> <p>○コミュニティセンター内にカフェなど憩いのスペースを設置し、市民がふれあう地域コミュニティの場を提供します。</p> <p>○さまざまなアプローチによるまちづくりに繋がる講座等を実施し、学習と交流の場を提供します。</p> <p>○地域の特性を活かし、シビックプライドの醸成を図る催し等を実施します。</p> <p>○各々が描くまちづくりを実現するため、個人またはグループの活動を支援します。</p> <p>(3)【地域で育て・見守り・支える青少年の育成】</p> <p>○市内の豊かな自然に触れ合う体験活動等を提供し、健やかな心身を持つ青少年を育成します。</p> <p>○小学生が地域の施設に宿泊し通学する事業などを通して、自立性・自主性・協調性を育みます。</p> <p>○学校と地域が連携強化し、見守り活動や青少年の非行防止活動、家庭教育支援の充実を図り、地域全体で子どもや家庭を見守り育てるための環境づくりを進めます。</p> <p>(4)【図書館機能の充実】</p> <p>○教育・文化に関する領域に留まらず、市民の暮らしや社会に役立つ情報を提供します。</p> <p>○子どもたちの読書普及活動を推進します。</p> <p>○高齢者や障がいを持つ人が利用しやすい読書環境を整備します。</p> <p>○記念文庫内の貴重な資料の適正な保存管理に努めます。</p>							
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンターで開催された講座数	332講座 (平成30年度)	288講座	290講座	365講座	365講座	342講座	350講座 (令和6年度)
コミュニティセンターで開催された講座の参加者数	24,262人 (平成30年度)	11,217人	12,235人	14,276人	13,678人	13,502人	26,000人 (令和6年度)
市立図書館貸出冊数	860,183冊 (平成30年度)	622,630冊	817,456冊	749,522冊	788,839冊	749,411冊	880,000冊 (令和6年度)
関連性の高いSDGsの17目標	4.質の高い教育をみんなに						

3.<具体的な事業とその実績>

No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度
(1)-1	放課後子ども教室事業	地域の参画を得て、ノウハウを共有しながら、すべての児童に対して放課後等に多様な体験活動を提供し、居場所づくりと次代を担う人材育成を図ります。	生涯学習スポーツ課	貢献している
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)
	放課後や週末などの時間を利用し、様々な体験や活動の機会を提供し、世代間の交流をすすめるため、各コミュニティセンターで学習補助や、生け花・茶道・書道・太鼓・三味線など文化芸術の体験、門松づくりやクリスマス飾りづくりなどの季節に応じたクラフト体験や地域学習など、地域のボランティアの協力を得ながら「放課後子ども教室」を実施しました。また、子どもたちの安全・安心な居場所の確保ができました。	1,900	1,727	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度
(2)-1	コミュニティセンター運営事業	コミュニティセンター主催講座、共催講座など、地域の誇りやニーズに沿った講座を開催し、生涯学習の機会を提供することに加え、地域間の交流を促進します。また、コミュニティセンターに憩いのスペースを設置し、気軽に利用できる施設運営を行います。	市民協働課	貢献している
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)
	市内26箇所のコミュニティセンターにおいて、住民ニーズを踏まえた講座を実施しました。地元高校生が講師をしたり、障がいの有無や年齢性別を問わず楽しめるユニバーサルスポーツを取り入れたりなど、自分らしく力を発揮することや地域内の相互理解から得られる幸せを実感できる機会や、それによる交流を創出しました。また、市民の身近な憩いの場として、コミュニティセンターカフェコーナーの充実を図り、気軽に立ち寄れる施設を目指しました。	8,031	6,863	継続

No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(2)-2	社会教育団体補助事業	社会教育団体の活動を支援し、その運営基盤の強化を図り、持続可能な社会教育の推進を図ります。	生涯学習スポーツ課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	地域社会の活力向上や社会教育活動を通して市民が交流を図ることができる団体の活動を支援しました。坂井市PTA連合会事業に239,000円、ガールスカウト育成団体運営に140,000円、ボーイスカウト育成団体運営に70,000円、坂井市女性の会運営に1,000,000円、かるた協会事業に315,000円の活動補助をしました。		1,810	1,764	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(2)-3	市民運動推進事業	地域での花壇づくり等市民の自主的かつ創意的に取り組む活動を支援し、住みよいふるさとづくりの推進を図ります。	生涯学習スポーツ課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	毎年実施している花壇コンクールに今年度挑戦した団体は、今年度も広域部門で9団体、地区単位で44団体の応募があり、花壇づくりをはじめ、市民が自らの創意による活動を通して、市民憲章に根ざした活力ある住みよいまちづくりを目指した意識向上と推進を図ることができました。		340	340	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(2)-4	子ども会育成事業	幼少年期から家庭や学校以外の地域の大人と関わる機会を提供し、地域に根ざした活動体験を通して、子どもの健やかな成長と青少年のリーダーとなる人材育成を推進します。	生涯学習スポーツ課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	チャレンジランキング大会やディスクドッチ大会、壁新聞コンクールなどの事業を通じて、異なる学校・学年の児童や地域の人との交流を行うことができました。壁新聞コンクールでは22作品の応募があり、作成を通じて地域について学ぶ機会を創出することができました。ジュニアリーダーズクラブでは地区の子ども会やコミュニティセンターでの活動や、自主企画によるジュニアリーダーとの宿泊体験など積極的に企画・運営を行い、リーダーとして活動することができました。		2,146	2,113	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(2)-5	成人式事業	市として新成人の門出を祝福し、成人としての自覚と心構えを促すとともに、ふるさと坂井市への想いを高め、地元での活躍や地域貢献への醸成を図ります。	生涯学習スポーツ課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	昨年度と同様、1部制で実施しました。本市にゆかりのある二十歳を迎える成人を対象に「はたちのつどい」を実施することで社会的責任が拡大する年齢に達したことへの自覚を促しました。また、はたちのつどい実行委員会を結成し、二十歳を迎える成人自らが企画、運営するイベントとなりました。		1,479	1,174	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(3)-1	わんぱく王国事業	市内の児童が坂井市の豊かな自然を体験できる機会を創出できるよう、地域協働のもと事業を展開し、元気で心豊かな少年の育成を育成します。	生涯学習スポーツ課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	坂井市を中心とした自然に触れ合える体験を4月～11月にかけて開催しました。一泊二日のキャンプや工作教室といった新メニューも含めて22種類47回実施しました。延べ人数471人、実人数207名にご参加いただきました。また、初年度の4年度から累計して8種目以上参加達成した24名の児童に「わんぱく王」の称号を授与しました。		4,800	3,599	縮小
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(3)-2	坂井・延岡ジュニア交流事業(体験型交流による子どもの育成)	宮崎県延岡市との姉妹都市交流事業の一環として、PTAの関係者並びに地域のボランティア等が両市の児童と体験学習を通じて、地域で子どもたちを育てる意識の高揚を図る。	生涯学習スポーツ課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	坂井市の5,6年生15人の児童が参加し、延岡市の15人の児童と延岡市の歴史文化や坂井市とのつながりを学ぶことを通じて交流を深めました。また、交流期間中は両市児童がグループで体験活動を行うため、両市PTA連合会から2名ずつ協力を得て、児童の安全確保に努めていただきました。		1500	1,231	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(3)-3	合宿通学事業	家庭を離れ合宿生活を体験することで、日常における家族への感謝の気持ちや自主性、協調性を育てます。また、地域の方々の協力のもと、子どもと地域の結びつきを図ります。	生涯学習スポーツ課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	防災合宿として開催し、市内4地区の小学5、6年生100名が小学校の体育館を会場として実際に避難所で使用する避難用品を使用して宿泊したり、食事を作る避難所体験を行いました。また、AED体験や防災クイズなどを通して、参加者自身に災害について考える機会を提供しました。合宿期間中は地域団体の協力を得るなど、子どもたちが地域の大人と触れ合う機会も提供しました。		880	757	縮小

No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(3)-4	心の家庭教育支援事業	家庭教育支援員による子どもとの会話や保護者からの相談業務を通じて、子育てに必要な情報や手法を提供するとともに、学校等と連携し、さまざまな角度から家庭教育の支援に取り組みます。	生涯学習スポーツ課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	各地区で家庭教育支援チームを結成し、支援員が市内の小学校15校で月2回程度の子ども相談室を開催し、子どもたちに寄り添いました。また、小学校の保護者会や就学時健康診断時などを活用した保護者相談会を計34回開催し、子育てに関する保護者の悩みを聞くなどのサポートを行いました。		1,821	1,573	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(3)-5	青少年育成坂井市民会議事業	地域における、見守り活動や挨拶運動など、子どもたちが安心して生活できる環境づくりに取り組み、次代を担う青少年の健全な育成を図ります。	生涯学習スポーツ課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	市内23支部において、登下校時の見守り活動やあいさつ運動を毎日実施することで、子どもたちが安心して生活できる環境づくりに取り組みました。1月には坂井市民運動推進協議会と合同主催でふるさとづくり大会を実施しました。大会には123人が参加し、市民会議会長表彰として個人15名、3団体を表彰しました。会長表彰後はFBCアナウンサーの森本 茂樹氏による講演会を行いました。		2,126	1,947	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(4)-1	子どもの読書活動推進事業	お話し会や、ブックスタート事業、講演会などを通して、子どもが本と出会う機会をつくります。また、読み聞かせボランティアの育成や支援に努めます。	図書館	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	各館でのおはなし会や、ブックスタート、学校配本を継続して行っています。「ブックトーク」では司書が小学校に向き、読書の素晴らしさや視野を広める目的のもと、本の紹介を実施しました。「ジュニア司書養成講座」では、学校や家庭において読書の素晴らしさを広める「読書リーダー」の育成を行いました。また、人気絵本作家の複製画展を開催し、子どもの読書普及に務めました。		2,181	1,804	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(4)-2	図書館サービス事業	地域における生涯学習の場として、高齢者や障がいを持つ人も図書館を円滑に利用できるようきめ細やかな対応に努めます。	図書館	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	暮らしや趣味など役立つ資料や情報を、各館の特色を活かしながら収集し提供しました。また「読書バリアフリー」の棚を設置し、高齢者や障がいを持つ人も安心して利用出来るよう努めました。		161,197	159,025	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(4)-3	記念文庫運営事業	偲ぶつどいや講演会などを開催するとともに、記念文庫内資料の適切な保存管理を行い、郷土にゆかりのある文学や歴史を継承していきます。	図書館	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	中野重治文庫、小葉田文庫の保存整理を行いました。また、中野重治を偲ぶつどいの「くちなし忌」と小葉田淳記念講演会を開催し、顕彰に務めました。		2,287	2,060	継続

4.<基本計画に対する現状と課題および展開（具体的な事業の実績を踏まえて）>

現状と課題 および展開	<p>(1)【社会教育と地域づくりの活動の一体的な推進】 （生涯学習スポーツ課） 合宿通学事業は令和2年度より避難所生活を体験し、防災の知識と経験を得る防災合宿を実施してきました。今後は、地域の人たちと一緒に実施し、地元まちづくり協議会などが独自で実施できるように推進していきたいです。 子ども会育成事業は、活動を通して異なる学校や学年、そして地域の大人と関わる機会を提供しています。今後は、より一層市内の子ども同士の交流を図ることや各地区の単位子ども会の活性化を狙った活動を行っていきます。また、ジュニアリーダーズクラブでは地域の子どもの会活動や他事業の体験活動のお手伝いを行うことでリーダーとなる人材の育成を図ります。</p> <p>(2)【コミュニティセンターを拠点とした集い・学び・結ぶ環境づくり】 （生涯学習スポーツ課） 放課後子ども教室は市内25のコミセンで実施しており、地域住民の方々の協力を得ながら放課後や休日の居場所を作っています。しかし、内容の充実度に教室ごとの差があります。地域性を鑑みたくえで、内容を充実させていきたいです。 （市民協働課） 生涯学習の場であることはもちろん地域コミュニティの拠点としても、コミュニティセンターを利用する人が増えています。 コミセン講座においては、価値観やライフスタイルの変化に伴い、住民ニーズにあった講座の企画運営が求められています。講座をきっかけに、生涯学習の充実や住民同士の交流の機会創出はもちろん、子どもから高齢者まであらゆる世代の地域住民が気軽に利用できる環境づくりを一層推進していきます。</p> <p>(3)【地域で育て・見守り・支える青少年の育成】 （生涯学習スポーツ課） 見守り活動では見守り隊員の高齢化が顕著であることから、令和2年度より誰でも気軽にできる「いきいき見守り隊」の制度を設けており、今年度は14名の新規申請がありました。ご年配の方々の加入だったため、若い人にも入っていただけるようなアイデアを捻出して実施していきたいです。</p> <p>(4)【図書館機能の充実】 （図書館） 今後も、来館者数480,000人、貸出冊数880,000冊を目指し、子どもの読書普及や、高齢者や障がいを持つ人にも安心して使用できる、きめ細やかで円滑なサービスに取組んで参ります。 しかし、人口減少や図書館利用者の高齢化による来館者減少を理由に、現目標値が達成できないと見込まれています。高齢者向け行事の開催や、市内小学校への訪問、ジュニア司書養成講座を定着化させることで、新たな図書館利用者の育成や、子どもの読書活動推進事業をより進めるよう努めています。</p>
----------------	--

令和6年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート

1.<基本構想>

3 学ぶ意欲を支えるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンター 年間利用者数	430,930 人 (平成30年度)	224,555 人	275,001 人	319,788 人	377,732 人	386,008 人	450,000人 (令和6年度)
市立図書館年間来館者数	461,682 人 (平成30年度)	221,542 人	342,963 人	341,146 人	385,753 人	397,217 人	480,000人 (令和6年度)

2.<基本計画および方針と基本施策>

3-3 歴史・文化・芸術の伝承と振興							
<p>(1)【文化財の保存と活用】</p> <p>○地域にある文化財の調査や掘り起こしを行い、保存活動を進めるとともに、文化財を活用した地域活性化を図るため「坂井市文化財保存活用地域計画」を策定し、まちづくりや観光分野とも連携した活用に取り組みます。</p> <p>○三国祭や舟寄踊、日向神楽などの地域に残る無形文化財を後世に伝承するため、活動の記録・保存とともに、文化継承の担い手の確保や育成を支援します。</p> <p>○丸岡城の学術調査の成果をもとに、市民と文化財としての価値を共有するとともに、丸岡城天守や周辺部「城郭・丸岡城」の文化財としての価値の確立と観光資源としての評価の向上に取り組みます。</p> <p>○六呂瀬山古墳群をはじめ、埋蔵文化財の保存・出土品等の保存整理と公開活用に必要な施設整備等に取り組みます。</p> <p>○みくに龍翔館については、歴史文化遺産に関する資料を収集・保存・調査研究・展示活用する博物館機能を強化するとともに、観光と連携した情報発信機能を高め、交流人口の拡大を図る拠点となるよう取り組みます。</p> <p>(2)【文化芸術活動の振興】</p> <p>○坂井市文化協会をはじめとする文化団体の活動や後継者育成に対する支援に努めます。</p> <p>○文化ホールを市民の文化活動の拠点として広く活用してもらうため、各施設の機能や特性を活かし利用促進を図っていきます。</p> <p>○一筆啓上日本一短手紙の館は、「一筆啓上賞」を核に地域に根ざした手紙文化を広く発信していくとともに、手紙に触れる機会を通して郷土に対する誇りや愛着を深めてもらえるよう、学校や地域との連携を図っていきます。</p> <p>○優れた芸術作品に触れる機会を創出し、市民の文化・芸術に関する感性と創作意欲の向上を図ります。</p>							
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
丸岡城入場者数	128,158 人 (平成30年度)	69,616人	65,753人	108,875 人	116,386 人	135,398 人	150,000人 (令和6年度)
龍翔博物館来館者数 (館外活動参加者等を含む)	11,166人 (平成30年度)	5,516人	—	—	17,979人	18,334人	30,000人 (令和6年度)
関連性の高いSDGsの17目標	4.質の高い教育をみんなに			11.住み続けられるまちづくりを			

3.<具体的な事業とその実績>

No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1) -1	地域計画事業	文化財の保存・活用に関する分野横断的なマスタープラン兼アクションプランである文化財保存活用地域計画をもとに歴史文化を活かしたまちづくりを推進します。	文化課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	地域計画で定めた9つの関連文化財群のうち2つの説明パンフレットを作成しました。また、地域計画で定めるそれぞれの取組を効率的に推進するため、推進協議会で進捗管理を行いました。		905	799	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1) -2	文化財保存管理事業	文化財の保存管理に必要な措置を講じていくとともに、市民への公開や活用を通して文化財保護意識の啓発を行います。	文化課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	市内にある国・県・市の指定を受けた文化財の保存管理に対する補助金、奨励金の交付、また体験学習として勾玉や銅鐸作成、火起こし体験や埴輪作りなど大きな会場で「古代体験まつり」と称して開催しました。令和7年度施行予定の丸岡城天守保存修理事業の基本設計を行いました。		26,649	25,205	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1) -3	埋蔵文化財発掘調査事業	市内に分布する埋蔵文化財包蔵地に支障をきたさないよう、工事施工業者への周知心がけるとともに、適切な指導・助言に努めていきます。	文化課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	埋蔵文化財発掘届出関係事務並びに届出に伴う試掘調査を行いました。六呂瀬山古墳群については、昭和、平成に実施した発掘調査と平成30年度から令和4年度まで実施した六呂瀬山古墳内の発掘調査の結果をもとに、総合的な報告書を作成しました。また、六呂瀬山古墳群調査整備委員会については、今年度2回開催しました。		6,946	6,809	継続

No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1) -4	丸岡城国宝化推進事業	丸岡城の学術調査の成果を広く周知し、市民が誇りを持つ機運の醸成を図ります。また、丸岡城天守や周辺部（城郭）の文化財としての価値を高めるため、丸岡城の目指すべき将来像を明確化するとともに、引き続き調査・研究に取り組みます。	文化課 (丸岡城国宝化推進室)	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	丸岡藩誕生400年記念のメイン事業として、最も知名度が高い城郭イベントであり、北陸で、現存天守近くでは初めてとなる「出張！お城EXPO in坂井・丸岡城」を開催し、丸岡城や丸岡藩に関するパネル展示、有識者や著名人による講演会・ステージイベントなどを行いました。また丸岡城城山整備の基本方針となる丸岡城城山整備基本計画策定のため、策定委員会を立ち上げ、基本構想を策定しました。さらに各イベントやテレビ番組等からの依頼に対し学芸員が出演し、丸岡城の知見やその魅力を紹介しました。		42,712	41,060	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1) -5	坂井市龍翔博物館管理運営事業	坂井市の歴史、自然及び文化についての関心を高め、健全な教育、学術および文化の発展に寄与するとともに、歴史的文化遺産を市民共有の財産として適正に収集、保管、展示し、これらの資料に関する調査及び活用を図ります。	文化課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	令和5年6月にリニューアルオープンして、1年が経過しました。新しい常設展示では市全域を対象にした歴史や文化を分かりやすく紹介しています。また、資料の収集・保存、調査研究、展示および教育普及という博物館事業を円滑に行うため、施設の適切な維持管理を図りました。		56,097	51,507	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1) -6	坂井市龍翔博物館資料収集・保存事業	坂井市の豊かな歴史文化遺産に関する資料を収集し、その散逸を防ぎ、未来への遺産として後世に引き継ぎます。	文化課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	小野忠弘の絵画や古文書など167件の新資料を受け入れ、虫害・菌害を防ぐため燻蒸を行いました。また、新しく収集した三国仏壇の扉や三国祭山車人形の部品を「コレクション展」で展示するなど、活用を図りました。		2,681	2,333	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1) -7	坂井市龍翔博物館調査研究事業	収蔵資料および展示資料等の調査研究を進め、坂井市の歴史や文化に関する研究拠点としていきます。	文化課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	市の歴史・文化遺産に関する資料の調査研究を行い、専門家の指導を得て、企画展や特別展に反映しました。		694	592	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1) -8	坂井市龍翔博物館展示および教育普及事業	博物館施設として基盤となる資料収集、調査研究の成果を還元・反映し、坂井市の風土、歴史・文化をわかりやすく魅力的に伝え、市民や来館者が「楽しく学べる場」を目指します。	文化課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	夏の共催展では「ミュージアム de イリュージョン」を開催しました。4,708人の入館者があり、幅広い年代層の人々で賑わいました。特別展は、丸岡藩誕生400年記念として「お天守ストーリー～だから、今のお城がある」を開催し、1,107人の入館者がありました。丸岡城の絵図や天守の古材などを展示し、丸岡城天守が歩んできた歴史を紹介しました。この他にも、各種企画展を開催し、イベントやワークショップには約1,000人の参加者がありました。		15,342	13,528	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1) -9	坂井市龍翔博物館観光連携事業	館に多く収蔵される日本遺産「三国湊」の構成文化財や、東尋坊などの観光資源に恵まれた立地条件を活かし、来館者の誘致拡大を図るとともに、丸岡城をはじめとした市内観光地へと誘導していきます。また、観光と連携した情報発信機能高め、交流人口の拡大を図る拠点となるよう取り組みます。	文化課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	ミュージアムショップでは、特別展や共催展などの関連グッズを開発し、ショップの充実を図りました。また、あわら温泉女将の会との意見交換会を実施するなど、観光連携に取り組みました。		3,200	3,042	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(2) -1	文化活動支援事業	日頃の活動成果を発表する文化祭の開催を支援し、文化活動に対する市民の積極的な参加を推進します。また、文化ホールで開催する様々な舞台芸術公演を支援し、文化に触れる機会を提供します。	文化課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	市民文化祭は、市内4会場で開催し、来場者数は合計で約13,300人でした。公演事業では、様々なジャンルのアーティストの公演や地元出身の音楽家によるコンクール、演劇教室による中高生演劇ワークショップ等に取り組みました。支援事業では、4件の事業を支援しました。2年目となる文化芸術体験事業では、市内小中学校8校(合計生徒数約2,100人)で、スクールコンサートを開催しました。		18,200	18,099	継続

No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(2) -2	一筆啓上手紙の館管理運営事業	一筆啓上賞を市内外に発信する施設として、手紙にまつわる様々な企画に取り組みます。また、丸岡城と一体化した来館者の取り込みを図るとともに、市のPRにつなげていきます。	文化課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	丸岡文化財団に手紙の館の事業運営を委託し、一筆啓上賞や手紙をテーマにした企画展等を実施しました。一筆啓上賞は今年で第32回目を迎え、作品応募者数は、39,164通で、海外からも93通の応募がありました。また手紙の館で行われた夏・秋・冬の企画展期間中の来館者数は約36,370人であり、手紙の館の年間合計来館者数は44,528人でした。		14,178	14,178	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(2) -3	ONOメモリアル管理運営事業	隔年開催の高校生現代アートビエンナーレをはじめ、現代美術等の企画・育成事業を実施します。	文化課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	3月から11月までの金曜日・土曜日・日曜日・祝日に開館し、来館者数は983人でした。企画展「トリックアートの記憶展」では、坂井市にゆかりのエッシャーにちなみ、過去のトリックアートの名品を配したインスタレーションを、多くの来館者が楽しみました。また、令和7年度開催予定の第7回高校生現代アートビエンナーレ事業に着手し、実行委員会の開催やポスター・チラシの作成、高校生への周知などを行いました。ワークショップ「食品サンプル」「廃材でモンスター」では、多くの子どもたちが参加し、熱心にアート作品作りに取り組みました。		6,448	5,799	継続

4.<基本計画に対する現状と課題および展開(具体的な事業の実績を踏まえて)>

現状と課題 および展開	<p>(1)【文化財の保存と活用】 (文化課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財保存活用地域計画に添い事業を推進していくなかで、文化財の発信や周知が一つの課題となっています。R6年度は、古代体験まつりとして、夏休み最初の日曜日に例年行っている勾玉作りや銅鐸作りに加え、様々な体験種目を用意し開催したところ、多くの来場者が訪れ、アンケート結果もほとんどの方が「満足」との回答でした。今後も市内文化財の発信をおこない、文化財の価値や歴史を市民に知ってもらうことで、文化財や市への愛着を造成し保存、継承に繋げていきます。 龍翔博物館では、特別展・企画展やイベント・ワークショップなど、多くの展示事業や教育普及事業を実施し、坂井市の歴史や文化の魅力発信と館の利用促進に取り組んでいます。入館者数はリニューアル前に比して増加していますが、目標値には到達していないため、今後は他館との共催展の開催や、学校や観光と連携推進など、事業の工夫と充実化を図っていきます。 <p>(2)【文化芸術活動の振興】 (文化課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 若い世代が文化芸術に興味を持ち積極的に参加できるように、中高生対象の継続的な演劇ワークショップや発表会事業を実施しました。また、子どもたちが文化芸術や伝統文化に触れる機会を確保しました。今後も後継者育成や専門の人材の確保につながるよう取り組んでいきます。
----------------	---

令和6年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート

1.<基本構想>

3 学ぶ意欲を支えるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンター 年間利用者数	430,930 人 (平成30年度)	224,555 人	275,001 人	319,788 人	377,732 人	386,008 人	450,000人 (令和6年度)
市立図書館年間来館者数	461,682 人 (平成30年度)	221,542 人	342,963 人	341,146 人	385,753 人	397,217 人	480,000人 (令和6年度)

2.<基本計画および方針と基本施策>

3-4 生涯スポーツの振興							
<p>(1)【スポーツ・レクリエーションの振興推進】 ○市民一人ひとりが精神的な豊かさや充実を感じられ、生きがいづくりや体力の向上、健康の保持・増進により、生涯にわたって生き生きとした生活を送ることができるよう、スポーツやレクリエーションなどの生涯スポーツ活動を支援・推進します。</p> <p>(2)【トップアスリートの育成】 ○競技スポーツの向上には、一貫性のある指導体制による選手育成システムの構築が必要であり、トップレベルの競技者や指導者が活動できる環境の整備を推進します。 ○競技スポーツの振興に寄与する団体を支援し、小学生から高齢者まで競技者の段階的な育成を図ります。</p> <p>(3)【体育施設の効率的な管理運営】 ○市内全スポーツ施設の利用状況や管理経費等を総合的に検証したマネジメント計画を策定し、当該計画に基づき適正かつ効率的な施設整備並びに維持管理を行います。</p> <p>(4)【スポーツツーリズムの促進】 ○福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会を開催した実績とレガシー（遺産）を活かし、各競技の全国大会や国際大会の開催、トップアスリートの合宿誘致などスポーツツーリズムによる国内外との交流を深めます。</p>							
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
坂井市民スポーツ祭等参加者延べ人数	9,397人 (平成30年度)	1,166人	497人	4,257人	7,128人	5917人	11,500人 (令和6年度)
スポーツ推進委員主幹教室・大会参加者数	93人 (平成30年度)	0人	76人	0人	60人	80人	150人 (令和6年度)
関連性の高いSDGsの17目標	3.すべての人に健康と福祉を			4.質の高い教育をみんなに			

3.<具体的な事業とその実績>

No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1) -1	スポーツ大会運営事業	古城マラソンや市民スポーツ祭などスポーツイベントの開催のほか、各種スポーツ大会の運営に対して助成を行い、スポーツの振興を図ります。	生涯学習スポーツ課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	古城マラソンでは、2,640人のランナーが参加し、市民スポーツ祭はスポーツ推進委員や丸岡高校等による体験ブースを設け、3,277人が参加しました。また、各種スポーツ大会の運営に対し、坂井市古城カップ300,000円、坂井・奥越地区高等学校野球連盟事業100,000円の外、市内で開催された北信越高等学校体育大会に100,000円の助成を行いました。		18,175	18,072	継続
(1) -2	スポーツ推進委員運営事業	スポーツ推進委員が行うスポーツの実技指導やニュースポーツ教室などの開催を通して生涯スポーツの推進のもと、市民の健康維持と交流を図ります。	生涯学習スポーツ課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	子ども会や老人サロン等から22件の派遣依頼があり、子どもから高齢者までの幅広い年齢層の市民へニュースポーツや体操指導を行うことができました。ディスクドッチの審判・指導を行うことへ、フライングディスク競技の振興への助力を行いました。また、既存のストレッチを中心としたマリン体操のほかリズム良く行うことができるしあわせの花体操を完成させました。		2,083	1,958	継続
(1) -3	部活動地域移行事業	中学校の休日の部活動を段階的に地域へ移行し、持続的なスポーツの推進体制を確立することで中学生のスポーツ活動の機会を確保します。	生涯学習スポーツ課	ある程度貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	令和5年度より着手している地域移行について、本年度は19部活動を地域移行することができ、合計25部活動が地域移行済みとなりました。また、来年度の地域移行に備え指導者の確保や地域クラブ立ち上げについて随時取り組むほか、指導者講習会の開催により指導者の資質向上を図るなど、受け入れ態勢の整備に寄与することができました。		17,861	9,353	拡充

No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(2) -1	スポーツ振興事業	市民に地元の誇りとスポーツ意欲の向上をもたらすトップアスリートの輩出やトップチームを育成するための支援を行います。	生涯学習スポーツ課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	全国スポーツ大会等出場選手337人に対し助成を行いました。また、地域密着型トップスポーツチーム支援事業として、坂井フェニックスサッカークラブと福井丸岡RUCKに対し、それぞれ1,000,000円の助成を行いました。		109,751	108,557	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(3) -1	体育施設維持管理事業	体育施設に関するマネジメント計画等に基づき、効率的な管理運営を行います。また、ネーミングライツ等の費用負担を軽減する方を検討します。	生涯学習スポーツ課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	令和2年度に策定した「坂井市スポーツ施設マネジメント計画」に基づきスポーツ施設の効率的な管理運営と、維持改修工事を行いました。 【主要改修工事 春江体育館耐震改修工事(建築・電気):280,170千円、丸岡B&G海洋センター屋内プール遠赤外線放射暖房設備取替工事:35,530千円】		595,438	589,946	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(3) -2	体育施設整備事業	施設の利用状況や利用者のニーズを把握し、計画的に改修や修繕など整備工事を行い、安全で快適なスポーツ環境づくりを進めます。	生涯学習スポーツ課		
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	R6年度 予算配当無し		0	0	
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(3) -3	スポーツ大会運営事業(再掲)	誘客力や国際力のある各種全国大会や世界大会を積極的に誘致・開催する「坂井市版スポーツツーリズム」を促進し、スポーツによるまちづくりを目指します。	生涯学習スポーツ課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	フライングディスク競技の普及啓発に向けて、市内6小学校407名及び、市内1高校82名に世界チャンピオンを招聘してのディスクゴルフ出前授業を行いました。また、市内11小学校799名に、公認インストラクターによるドッチビー出前授業を行いました。		1,084	1,084	拡充
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(3) -4	保健体育事務事業	スポーツ振興の充実を図るための事業を行います。また、各種協議会等に対し負担金を助成します。	生涯学習スポーツ課		
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	R6年度 予算配当無し		0	0	

4.<基本計画に対する現状と課題および展開(具体的な事業の実績を踏まえて)>

現状と課題 および展開	<p>(1)【スポーツ・レクリエーションの振興推進】 (生涯学習スポーツ課) スポーツ推進委員運営事業では、地域からの派遣依頼や自主企画、古城マラソン等の市主催行事への協力を通して、スポーツの振興と市民の健康増進に努めています。派遣依頼は22件あり、主に老人クラブ等の体操指導やニュースポーツ体験指導、子ども会ディスクドッチ大会の審判がありました。また、派遣依頼のほか、フライングディスクの普及啓発のため、第1回坂井市長杯ディスクゴルフ大会を開催するなど、スポーツ振興に積極的に図っていきます。</p> <p>(2)【トップアスリートの育成】 (生涯学習スポーツ課) 引き続き、競技スポーツの振興に寄与する団体を支援していきます。</p> <p>(3)【体育施設の効率的な管理運営】 (生涯学習スポーツ課) 費用面等も考慮しながら、計画的に改修・再整備またその維持管理を行っていくことで、より多くの方がスポーツに触れ合う機会を伸ばしていきます。</p> <p>(4)【スポーツツーリズムの促進】 (生涯学習スポーツ課) ワールドマスターズゲームズの開催を契機に、「スポーツツーリズム」による交流人口の拡大を進めていく必要があります。また、坂井市には、様々なスポーツ施設の他、多くの宿泊施設があり「スポーツ合宿」の誘致に適しているため、アクセスが容易な関西や中京圏からの誘致を積極的に進める必要があります。</p>
----------------	--